

令和2年度 自己評価

認定こども園 勝山愛和第四幼稚園

1、本園の教育目標

本園は、み仏に手を合わせる感謝の心を培い、好奇心を抱いて積極的に自分で考え、判断し、表現（行動）できるしっかりとした情緒豊かな生きる力とたくましい体を育み、「いつも明るくありがとうを言える子」「背すじ伸ばして姿勢のよい子」「よく考えてがまん強い子」を育成する。

2、本年度、重点的に取り組む目標、計画

緊急事態宣言が発令され、休園中の教育保育活動の工夫と緊急事態宣言解除後の感染拡大予防の徹底を図りながら、大切な子どもたちの日々を取り戻すために創意工夫に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
新型コロナウイルス感染拡大予防を図ったうえでの教育保育計画の作成	新型コロナウイルス感染予防に配慮した教育保育内容に調整、工夫している。
安心、安定の園生活になるように環境を工夫する	遊具、机等子どもが触れるところの消毒、机の配置等を工夫している。
新型コロナウイルス感染予防に配慮した環境の中で、行事を実施する	会場設営、参加者の人数制限等保護者の理解も得て取り組んでいる。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本年度当初より新型コロナウイルス感染予防に万全を期した教育保育計画に基づき、日常の保育・行事に取り組み、新型コロナウイルス感染予防に配慮された環境の下であったが、幼児期教育保育の重要性を意識した教育保育に努めることができた。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	学びあいの環境づくりに配慮し、適切、有効な指導助言により、意欲と責任感を引き出し、保育者としての生きがい、充実感のある職場環境を構築し、研修意欲の向上に努める。
情報公開の方法	園だより「はぐくみ」（毎月発行）や「学園だより」（年8回発行）により教育保育活動情報の公開に取り組んでいるが、公開内容や方法を検討する。
指導計画の編成	日々子供の実態を仔細に検証し、指導計画を修正し、実態に即した指導計画の作成に努める。
保育環境等の改善	施設、設備、教具、教材の点検をはじめ、保育活動の総合的検証と計画的な改善に努める。

6、財務状況

学園監事監査、公認会計士監査、行政監査において、適正に運営されているとの評価を受けている。

令和3年3月15日

令和2年度
学校関係者評価委員会報告

勝山愛和幼稚園 自己評価・学校関係者評価実施規定に基づき設置した学校関係者評価委員会において、自己評価報告書（令和2年度）の内容として、学校関係者評価を実施しましたので、概要をお知らせします。

1. 開催期日

令和3年3月12日（金） 11:00～12:00

2. 開催場所

勝山愛和第一幼稚園 3階ホール

3. 委員

番号	区 分	人数	所 属 等	備 考
1	卒園児保護者代表	3	卒園児保護者	出席
2	保護者	6	実行委員長	出席
3	総園長	1		出席
4	副総園長	1		出席
5	園長	1	勝山愛和第一幼稚園	出席
6	本部職員	2	事務局	出席

4. 委員からの意見と学校関係者評価委員会の評価

(1) 令和2年度自己評価報告書について

- ① 評価項目の設定については、特に問題はない。
- ② 取組み状況については、評価項目に適切に対応している。
今後取り組むべき課題については、報告どおりの努力を期待する。
- ③ 自己評価表をホームページ上に公開し、教職員、保護者等に広く伝えていることは評価できる。

(2) 関係者の意見・評価

本年度は、新型コロナウイルス感染予防に配慮した内容の保育・行事であったが、先生方の子どもたちへの思いが伝わる保育・行事の取り組みに感謝したい。来年度の新型コロナウイルス感染状況によっては、本年度の反省・評価を踏まえて幼児教育の重要性を意識した取り組みが必要である。